

連続鉄筋コンクリート舗装の鉄筋敷設工法
FKメッシュパネル工法

NETIS登録番号：CG-160007-VE
活用促進技術



FKメッシュパネル工法

概要

FKメッシュパネル工法は、斜交鉄筋網を使用した連続鉄筋コンクリート舗装における、鉄筋の敷設の画期的な工程短縮工法である。

【施工実績】

国土交通省 49件、NEXCO 16件、地方自治体・民間 10件

特長

- バラ鉄筋を1本ずつ結束する必要がないため、鉄筋工がいなくても敷設が可能。
- 1人当たりの鉄筋の施工数量が2～7倍に増加するため、省人化できる。
- 施工スピードが2～7倍に向上するため、工程短縮によるトータルコスト削減ができる。
- 工場内で専用設備での自動生産のため、鉄筋ピッチ等の品質が安定する。
- くるくるスペーサーを併用することで、敷設前に連続スペーサーの設置が不要となる。
- 製品長が5m～10mの範囲であり、現場への搬入に通常大型車での納入が可能となり、特殊車両申請が不要となる。
- 悪天候や現場条件など、鉄筋敷設工程に制限がある場合などに特に効果が高い。

品質について

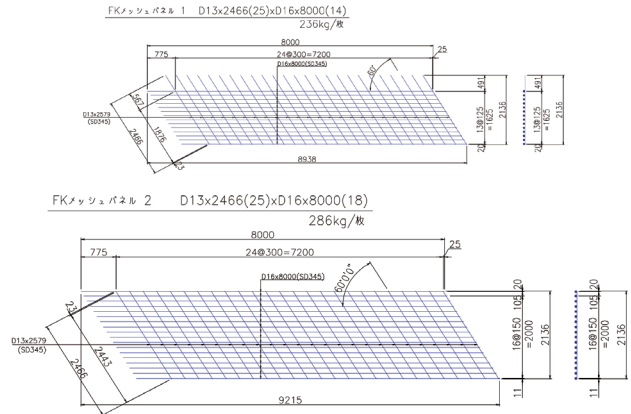
鉄筋を電気抵抗溶接することによって加えられる熱影響による鉄筋母材の強度低下がない。

実施済み試験内容

| | |
|---------------|--|
| ① 引張試験 | FKメッシュパネル供試体を使用し、溶接部で破断しないことを確認済み。 |
| ② 疲労試験 | 降伏強度の50%荷重にて200万回繰り返し試験に耐えうることを確認済み。 |
| ③ 疲労試験後静的荷重試験 | 上記②の疲労試験を載荷済みの供試体にて引張試験を行い、母材同等の強度を有していることを確認済み。 |

形状および製作可能範囲

| 形状 | 標準製品は下図を参照 |
|--------|--|
| 製作可能範囲 | 主筋径 D19～D16までの各サイズ 配力筋径 D13の各サイズ 材質 SD345 製品長 主筋長さ 4m～9mまでの各サイズ 製品幅 2.3m未満 |



メッシュパネルの姿図

施工手順

1. FKメッシュパネル搬入・間配り
2. 敷設用クレーン配置
3. 専用吊治具にて製品に玉掛 → 吊上
4. FKメッシュパネル敷設
5. 自動結束機にて鉄筋継手結束
6. 以後繰り返し
7. 施工完了

